

Organ Performance & Talk
@ Bach Grove, Tsukuba

オルガン・ライブ & トーク

11月 29日 (日) 午後 3時 15分

バッハの森 記念奏楽堂

物語と共に楽しむオルガン・コラール

演奏：宮本 とも子

お話：石田 友雄

J.S. バッハ

「愛する御神にのみ続べ治めていただく者」 BWV 647

「私の魂は主を崇め」 BWV 648

「装え、愛する魂よ」 BWV 654

フーガ ト短調 BWV 578

G. ベーム

「大いに喜べ、私の魂よ」 (パルティータより)

定員30名

予約制・先着順

一般 2,500円

会員・学生 2,000円

小・中学生 1,000円

コロナウイルス対策として定員を設けています。

お申込みは裏面の電話、Fax、Eメールからお願いします。

つくば市教育委員会 後援

宮本とも子



ジュリアード・プレ・カレッジ、聖心女子大学を経てニューイングランド音楽院学士課程、修士課程を修了。その後、スウェーリンク・アムステルダム音楽院に学び、ソリスト・ディプロマを得る。1976年以来、クラヴィコードを手元楽器としながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で、修復された歴史的オルガン、或いは、歴史的建造法に基づくオルガンで演奏活動をしてきた。1980年以降、国内で広くクラヴィコードを紹介してきたが、1995年、マニアーノ国際クラヴィコード・シンポジウムで演奏して以来、イタリア、ドイツ、アメリカ、日本でマスタークラスを開く。現在、バッハの森でコラル音楽の背景研究を学んでいる。フェリス女学院大学名誉教授。2010年にCD「クラヴィコードの世界～秘められた音楽領域を探る」浜松市楽器博物館コレクションシリーズ23；2017年にCD「バッハの森からの贈りもの～オルゲルビュッフライン」；2018年にCD「Soli Deo Gloria～J. S. バッハ：クラヴィアユーブング第3部」をリリース。いずれもレコード芸術特選盤。

石田友雄

1931年、東京に生まれる。1962年よりイスラエルに留学、1974年、エルサレム・ヘブライ大学に古代イスラエル史関係の論文を提出、博士号を授与される。1976年、筑波大学助教授、1980年、同大学教授、1994年、同大学副学長、1995年、同大学名誉教授。1985年にオルガニスト、故・石田一子と協力して、趣旨に賛同した市民有志と共に、財団法人筑波バッハの森文化財団（現・一般財団法人バッハの森）を創設。2009年より同財団理事長、現在に至る。現在、教会音楽をめぐる宗教文化史を研究中。旧約聖書、ユダヤ史、現代イスラエルなどに関連する著書、訳書、論考などを発表してきたが、邦語で出版した主な書物として、『ユダヤ民族の悲劇と栄光』六興出版、1974年、『聖書を読みとく ― 天地創造からバベルの塔まで』草思社、2004年、『ユダヤ教史 ― 聖書の民の歴史』山川出版社、1980年初版、2013年再版などがある。



バッハの森のパイプオルガン
ユルゲン・アーレント建造（1989年）

YouTubeでバッハの森を紹介しています



Facebookページ



■お申込み・お問合せ

一般財団法人 バッハの森

茨城県つくば市東光台 2-7-9

<http://bach.or.jp>

Tel. 029-847-8696

Fax 029-847-8699

Mail info@bach.or.jp

■ 交通案内

秋葉原駅から「つくばエクスプレス」で50分、
「研究学園」駅で下車、
つくバス「作岡シャトル」か「上郷シャトル」で13分、
「東光台入口」下車、徒歩5分

